

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 12月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	平成30年11月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年12月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気を大切にしながら、個々の利用者の認知レベル・身体レベルの維持、向上を図るために職員がどう支援していくかを常に考え、日々の介護の中で出来ることを取り上げないように、利用者の尊厳に配慮した介護を実践している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は閑静な住宅街にあり、町内会に加入し近隣の祭りの参加や保育園、幼稚園への行事参加や事業所に来てもらうこと等もあり、日常的に地域との交流を行っている。利用者の自立支援を基本とし、日常生活動作は自分でできることは行うとともに、筋力等の維持、向上が図られるように、午前、午後と1日2回体操を実施し、また、洗濯物畳み、食事の準備、片付けなどの家事を行うなど生活リハビリも行っている。事業所は2ユニットで構造上行き来もしやすく利用者同士交流を行ったり、職員も助け合いながら業務を行える利点がある。また、敷地内に複数の施設があり、利用者同士の交流、行事の企画等お互いに連携、協力を行いながら実施している。職員の研修は年度の実施計画を立て、内外の研修に参加しており、職員のスキルアップ、サービスの質の向上が図れるように取り組んでいる。</p>
--

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「感謝の心で共に働き生きる」と言う我が社の理念を職員と共有するために朝礼時に唱和を行っています。毎日の介護を行う上でも利用者様に感謝の心を持って接するように職員一同心掛けしております。	会社の理念については、毎日唱和することなどで職員一人ひとりが周知し、利用者に感謝、尊敬の念を持ちながら日々の関わりやケアを行っている。また、理念、事業計画を踏まえて、職員の個人目標を決め、半年ごとに振り返りを行い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加させていただいております。(地域のお祭りや運動会等)また青崎保育所とは交流で行き来させていただいております。また、ご近所のかたにボランティアによる朗読会を行っていただき楽しいひと時を持たさせていただいております。	地域のお祭りで、事業所に寄っていたり、運動会の参加や、保育園、幼稚園の交流等がある。地域の祭りや行事のお知らせが定期的にくる。また、定期的に行われる町内清掃は職員が参加しており、日常的に地域との付き合いがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談に応えたり認知症についての関わりなどお問い合わせいただきました折にはアドバイスさせて頂いております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議を通しグループホームでの皆様の暮らしについて報告を行い、参加頂いた方からの意見を頂き日々の介護に反映させて頂いております。毎回利用者の方にも1名参加して頂き生の声を聞いて頂いております。	併設の小規模多機能型居宅介護と合同で運営推進会議を行っており、利用者、地域包括支援センター、地区会長、副会長、婦人会等の参加がある。家族にも参加を要請しているが仕事もあり、難しい状況である。会議で出た情報で地域の行事に参加した例もあり、運営に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様にも出席をお願いし、会議後には開催状況記録をFAXにて送信させて頂いております。	分からない事、疑問点を介護保険課や地域包括支援センターに連絡して聞くことや、また、生活保護課のケースワーカーと入居者の事で連携を図っている。この度、地域包括支援センターからの要請で近所の住民を対象に事業所でお話を行う予定である。行政と協力関係をとりながら、運営している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年一回は必ず研修を行い、理解を深めるように指導しております。外部研修にも出来るだけ参加し、参加した職員からは他職員にフィードバックしてもらいます。玄関の鍵については夜間は防犯のために施錠しております。	研修を全職員を対象に行うことで、「身体拘束をしないケア」についての理解、周知ができており、実際に身体拘束を行った事例もない。利用者の個々の状態を把握しながら、ケア、対応を工夫しながら実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待についても年に一度は社内研修を行い防止に努めております。声掛けについても注意を払うよう指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修があれば参加するようにして制度や仕組みについて勉強し、知識の向上や支援につなげております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者様、ご家族様ともに重要事項説明書の書類について説明を行い、ご不明な点についてもご納得いただけるように説明をさせて頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様・ご家族様との関わりの中で出てきたご要望に関しては出来るだけ誠意を持ってお応えするように心がけております。職員にもご家族様からのご要望があった場合はきちんと報告するように指導しております。	家族が面会に来られた際や電話で、意見、要望を伺っている。殆どは利用者についての相談や状態を尋ねる内容で、それに応じて迅速に事業所で対応し、サービス向上、運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を通じて職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に話しを聞くようにしております。	定期的な職員会議や日常の業務の中でも密に職員と話をしながら、意見、提案を聞くようにしている。職員から出た意見、提案の中から行事が計画される等の例があり、日ごろから職員の声を大事にし、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己目標の設定や自己評価や勤務査定を行っております。職場環境についても職員会議を行い見直しを行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月社内研修を行い介護技術や知識の向上を図っております。社外の研修も希望に応じて申し込んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは交流を持ち、意見の交換を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人様・ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更を行っております。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時に話を伺い介護の方針について相談の上決めさせて頂いております。入居後も変化があればご連絡させて頂いております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化のあった時はご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応できることに関しては柔軟に対応させて頂いております。電話、手紙、面会などはお取次ぎしております。</p>	<p>ご家族、知人などの面会があり、居室で話しをする場を設けるなど配慮し、良い関係が継続できるように支援している。家族によっては、外出、外泊を行い、自宅に帰ったり、墓参りをしたり、外食をするなど行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者様同士で良好な関係が作れるように色々イベントの企画を立てて利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退所後も居宅支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切にし、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	職員の担当を設けご利用者様にしっかりと寄り添い希望や意見を伺える関係づくりに努めております。	利用者の担当職員を決め、日ごろの関わりの中から思いや意向を汲み上げている。個々の利用者の意向や生活習慣をもとに洗濯物量み、食事の準備、後片付けや、野菜の収穫をするなど、本人の思いを大切に支援している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	事前面接時に入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過の把握につとめております。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日のご本人との関わりの中で小さな変化にも対応できるようミーティング等を通して職員間での情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人・ご家族と話をし今必要なケアについて意見やご要望を確認してできるだけケアプランに反映させていただいております。</p>	<p>本人には日頃の生活の中から話を聞き、ご家族には電話で意向を確認し、担当職員の意見を含めた上で、計画作成者が介護計画書を作成する。そのため、現状に即した内容になっている。モニタリングは担当職員と計画作成者が一緒に行い、介護計画の実施状況を確認している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化などは記録に残し職員間での情報の共有を行い問題点は話し合いより良い介護を行うよう努力しております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人としっかりコミュニケーションをとりご本人のニーズには出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせていただきます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のイベントには出来るだけ参加し季節の移り変わりを感じていただいたり、地域の方とのふれあいを楽しんで頂いております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意向に沿う医療を受けられるように支援しています。内科の往診も週に一度あり、ご希望により皮膚科・歯科の往診も受ける事ができる体制をとっております。</p>	<p>入居時に本人、家族にかかりつけ医については意向を聞き、決めている。往診も定期的にあるため、殆どの利用者が事業所のかかりつけ医を選択されている。歯科、皮膚科の往診もあり、適切な医療を受けられる体制が整っている。往診の結果については、本人の状態に変化があれば、家族に電話連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度訪問看護ステーションよりバイタル測定を行い、利用者様の健康状態の把握に努め、ドクターに報告し連携もっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に応じて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面接時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話をさせていただいております。終末期には再度ご家族様の意向を確認とご本人様の意向を確認し意思を尊重したいと思っております。	本人、家族の意向を確認し、希望があれば事業所で看取りを行っている。看取りの際はかかりつけ医、看護師と連携をとりながら、チームで取り組み、利用者が安楽、安心して過ごせるように支援をしている。希望があれば家族に居室に泊まれるように布団を出すなど、サポートしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についての研修を行っております。事故が起きた時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いを持ち、再発防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し訓練指導を行っております。	年2回避難訓練を行い、消防署の協力のもと通報訓練、消火器の使い方の訓練、布団を使って階段から下に避難する訓練等を実施している。職員は防災に対する高い意識を持ち、避難方法を周知している。備蓄は非常食、水などあり、災害時に備えて準備している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナーについての研修を行い、職員にはご利用者様に寄り添うような対応をするよう指導しております。	一人ひとり人権を尊重し、接遇、対応を行なっており、抑制しない言葉掛けや、利用者と一定の距離を保ちながら、馴染みの関係がとれるように配慮している。排泄、更衣等介護時は本人の自尊心を傷つけないように声掛けをしたり、ドアを閉めるなど気配りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意しご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の意見を無視する事の無いよう希望を聞きながら支援するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら難しい所をお手伝いするよう心がけて支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事が出来るよう環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲で手伝って頂いております。また、イベントでも皆で食事を作る企画の際は皮むきなども出来る方にしていただき楽しんで頂いております。	食事前に口腔体操を行い、安全に美味しく召し上がれるように取り組みをしている。食事の盛りつけや食事後の片付けなど利用者が出来る範囲で行っている。月1回特別食でカレーライス、ちらし寿司などを利用者と職員が一緒になって作ることもあり、食事が楽しみになるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご本人様の状態に合わせた食事の形態にするように食べやすく刻んだり、お粥やとろみなどの対応もしております。食事時以外も10時3時入浴後等にしっかり水分が取れるよう声掛けも行っております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っております。希望により訪問歯科の往診も行っております。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を付け個々の排泄パターンを把握しその方に合わせたトイレ誘導の声掛けやパットの交換を行い快適に過ごしていただけるよう努めております。接遇マナーの研修時に自尊心を傷つけない声掛けについての指導しております。</p>	<p>日々の記録をもとに利用者の排泄パターンを把握し、個々に応じた排泄への支援を行っている。トイレでの排泄を原則とし、利用者の状態に応じてポータブルトイレやベッド上のオムツ交換をしている。自分でできる排泄動作は行って頂くように、声掛け、支援を行い、本人の能力、強みを活かした取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取を心掛け午前・午後共に運動の時間を設け自然の排泄を目指しております。個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っておりますが体調体質によりどうしても便秘がちな方はドクターに相談のうえ対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本入浴日は設定しておりますが、順番や時間などは出来るだけご本人様のご希望に沿うように対応しております。</p>	<p>入浴は週2回行っており、利用者個々の意向、状態に応じて順番や時間を考えるなど、自分のペースで気持ちよく入れるよう工夫している。冬場は足湯を実施し、血流を良くしたり、冷え性予防になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>居室内の環境に気を配り安眠できるように配慮しております。夜間しっかり眠れるように、体操などを行い日中は活動的に過ごして頂いております。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>すぐに確認できるようにお薬情報はファイルし、変化があれば職員に周知するようにしております。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の状態に合わせて施設内での役割を持って頂いたり、体力や認知能力を保つ為に個別にレクリエーションを行っております。外出の要望にもできるだけおこたえしております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員の数の問題もあり全てにお応えは出来ませんが外に出たいという希望には出来るだけ短い時間でも外に出るよう対応しております。気候の良い時期には中庭に移動してレクを行ったり、公園に出かけたりしております。遠くへの外出についてはご家族に連絡して対応をお願いしております。</p>	<p>本人の意向や気候に応じて近隣の公園など散歩に出掛けている。季節により桜、紅葉を見に外出したり、保育園の行事に参加することもある。家族による外出で自宅に帰ったり、外食も行うなど日常的に外出が行えるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用開始時に金銭管理についてはご本人・ご家族に説明を行いご本人にあった方法での支援を行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人様にお渡しし、読むのが難しい方については職員が了解の上で読んで差し上げることもあります。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>清潔で生活しやすい空間を作る為に各居室や共用スペースなどの清掃はマニュアル作成し毎日清掃しております。浴室も冬場など寒くないよう温度管理しております。季節の装飾を職員と一緒に作って居室やホールに飾って楽しんでおります。</p>	<p>利用者の意向、状態を考えながらテーブルの配置を行い、適切な位置にソファを配置するなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。季節感が感じられる飾りつけや壁には貼り絵など利用者が作った制作物が飾られており、明るい雰囲気のある共有空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>スペースに限りはありますが、ご利用者様同士の相性等も考慮し座席の配置を考えております。決まった席以外にもソファに座る事も出来ます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用開始時にご本人様の思い出の品や写真などを飾っていただいたり、施設に入居されてからもレクの時間に作った壁飾りや交流のある保育園の園児から頂いた飾りを壁にかけたりして思い出にくつろげる空間を作るよう心掛けております。</p>	<p>エアコン、ベッド、カーテンは備え付けている。ご本人の生活上必要な物品などは自由に持ち込まれている。自宅で使い慣れたタンスや仏壇を持ち込まれた利用者もいる。家族の写真などを飾ったり、本人が居心地よく過ごせるよう環境を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>必要な場所には手すりを設置し出来るだけ独歩できる環境を作っております。安全に配慮しながらも、手を出し過ぎない介護を心掛けております。</p>		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 H31年1月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域で開催されるお祭りや運動会などの催しには出来るだけ参加しているが、見学のみに終わる事が多い	利用者と地域の方との交流を増やす。	利用者のADLにもよるが見学だけに終わらず出来る事があれば実際に参加する。	一年
2	19	ご家族によってはほぼ交流の無い方もおり仕事が忙しいと聞いてはいるがもう少し関わりを持つようにしたい	一緒に利用者を支える関係を築く。	まめに連絡をとり施設に関心を持っていただく。運営推進会議などへの参加を促す。	一年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。